

惜陰の子ら

2024年は辰年。折り紙クラブの作品です。

令和6年1月
鯖江市惜陰小学校
学校だより NO.43

阪神大震災から29年

今年は元旦から大きな地震があり、隣の石川県では地震により亡くなった方が230人を超えました。今なお、水道の水が出ない家が5万件以上もあり、復旧にはまだまだ時間がかかりそうです。今まで住んでいた町をはなれ、祖父母のいる福井県に避難したり、中学生が家族と離れ白山市に集団避難したりと、皆さんと同年代の人たちが、つらく寂しい思いをしていることに、心が痛みます。

29年前の1月17日に起こった阪神大震災は、マグニチュード7.3という非常に大きな地震でした。多くの建物はもちろん、高速道路までも倒壊しました。寒い季節、しかも朝食の準備の時間と重なり、倒壊した場所から火災が広がったことも、たくさんの犠牲者を出す原因だったそうです。

地震はいつどこでおこるかわからない自然災害です。もしもの時のために、何ができるのかを考え、準備していくことはとても大切です。



冬休み中に「防災家族会議」を開き、自然災害が起こったときにどうするかについて家族で話し合いをしました。



元旦の能登半島地震の影響もあり、各家庭には非常食や防災グッズが備えられていました。いざというときの避難場所の確認もされていました。

“創ろう絆 灯そう友情のあかり”

第21回SABAE スノーフェスタ2024

日時:1月27日(土)

場所:鯖江公民館

内容:さばえすごろく大会 (受付1時30分~)

※当日申し込みもOK

※優勝者には賞品があります

昔あそびスペース

※福笑い、お手玉 などなど

イルミネーション点灯(3時30分頃)

冬の絵 作品展 ※2月12日まで

参加費無料!! みんなで遊びに行こう!!



冬をさがそう(1年生)

前日に雪が降りました。1年生は生活科の学習で「冬」を探しに校庭に…秋とはちがうところ、ちがうものを見つけ、写真に撮りました。見つけた冬をみんなで共有したあと、各自がワークシートにまとめました。



1月24日(火)百人一首大会

「五・七・五・七・七」の31文字で完成する日本語の歌(詩)のことを「和歌」といいます。「百人一首」は飛鳥時代(今から約1300年前)から鎌倉時代(今から約800年前)までの代表的な歌人100人の優れた和歌を一人一首ずつ集めて作られました。そして、「百人一首」を使って行うのが、競技かるたです。読み手が上の句を読み上げ、それに合う下の句を取る速さを競う競技です。福井県は競技かるたがとても盛んで、数年前に映画化された競技かるたの人気漫画「ちはやふる」のモデルも福井県あわら市なんですよ。



1月19日 練習試合

子どもたちが使っているのは、100枚の札をあお、ピンク、きいろ、みどり、オレンジの5色を使ってグループ分けした初心者向けの「五色百人一首」です。今年は、ピンクと黄色の40枚を使って対戦します。自分の陣地と相手の陣地に20枚ずつ並んだ札をとっていきます。

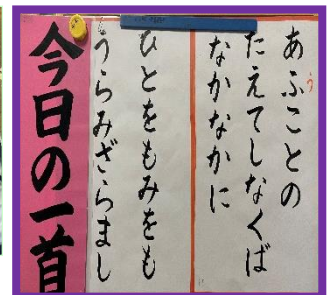


教室でも練習しています。(2年生)



冬休みに覚えてきた児童は、上の句を聞いてすぐ、下の句を探し始めました。

朝や昼の放送で、1日一首ずつ紹介されています。ちなみに今日の句は？



祝 鯖江市スポーツ栄光賞

2年 徳永 汰士さん

全農杯 2023全日本卓球選手権大会
(ホープス・カブ・バンビの部)

バンビの部 3位

1月15日(月)
ふるさと鯖江の日に
市役所で表彰式が
行われました。



大谷選手のグローブは...

始業式で全校児童に披露してから、順番に各クラスに回しています。4年生のクラスでは野球部の児童を中心に、実際にはめてみて大谷選手からのグローブの感触を確かめていました。

